

備えていますか？ペットの災害対策

～在宅避難編～

大規模な災害が起こったとき、ペットと安全に避難生活を送る備えはできていますか？大鳥小拠点で想定しているペット飼育場所の収容可能頭数は50頭程度で、受け入れ可能な動物は犬、猫、小動物（ハムスターなど）です。

可能な限り自宅でペットを飼い続けられるように、住まいの防災から始めましょう。

□ペットの居場所は安全ですか？

◎飼い主の安全なくしてペットの安全なし！

まずは家具の転倒・ガラスの飛散などの対策を。

◎ブルーシートやテントなど応急処置用品も用意！



□備蓄はしていますか？

◎ペットの救援物資はすぐには届きません。常に7日分以上の食料や衛生用品を確保し、特に薬や療法食、特殊な動物のエサなど代用がきかないものは必ず備蓄しましょう。

ペット用備蓄チェックリスト

- 薬、療法食、救急セット
- ペットフード、水、食器
- ペットシートなどのトイレ用品
- ケージ、キャリー
- 首輪、リード
- ワクチン接種など健康管理の記録



□いざという時の預け先はありますか？

◎ペットを一時的に預かってもらえる知人、親戚などを事前に探しておきましょう。預け先で困らないよう、普段から、決められた場所での排泄・ケージに慣らすなどのしつけ、ダニ、ノミの駆除などもしておきましょう。

大鳥小拠点ペットの災害対策を考える会